

タコノアシ

Penthorum chinense Pursh

ユキノシタ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

準絶滅危惧

選定理由

元来、個体数の少ない種であるが、近年は減少がはげしい。生育域も限られている。(現況:R-)

形態

茎の上部は直立し、分枝しない。葉は狭披針形、縁には細鋸歯があり、ほとんど無柄ある。花序の枝は茎頂に数本蝎足状に立ち、片側に花をつける。花は黄緑色であまり目立たない。果実はさく果で、横に裂けて上部が帽状にはずれる。種子は狭卵形。

国内分布

本州、四国、九州、奄美大島。

県内分布

外浦区、中能登区、口能登区、加賀中央区。

生態など

高さ30~80cmの中形多年草である。開花期は8~9月。茎の基部は地中においてやや肥厚し、数個の走出枝を出す。

生育環境

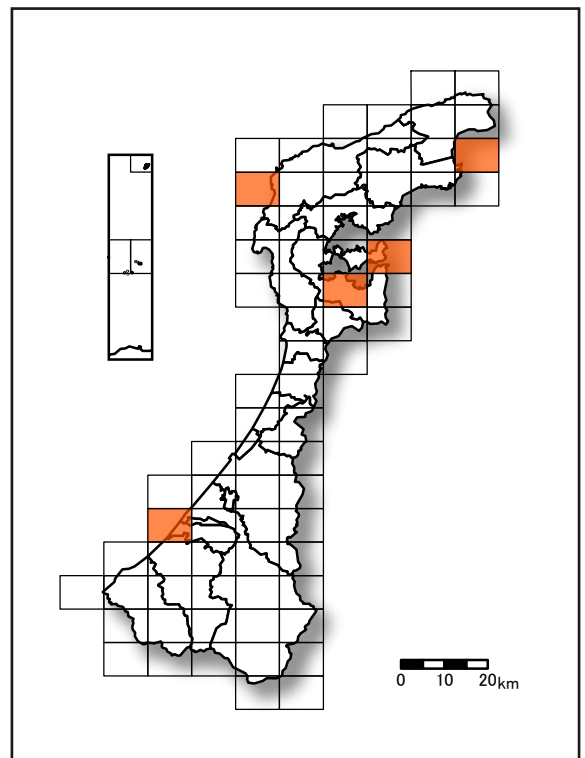
低地の泥湿地や河原、水田などに生える湿生植物である。

危険要因

河川開発、湿地開発、土地造成、自然遷移。



濱野一郎・2007年10月16日



県内の分布